

挨拶

仏教文化研究所所長 柳澤 慧二

只今、ご紹介いただきました柳澤でございます。本日は鶴見大学仏教文化研究所、同じく文化財学科、そして鎌倉考古学研究所の共催によります『大三輪龍彦教授追悼研究集会、仏教・鎌倉・考古学』にご参加いただきまして、誠にありがとうございます。お陰様でこのように盛会裏に集会が進行しておりますことを、大三輪先生もお喜びのことと存じます。

本日の発表をお聞きしております、大三輪先生が撒かれた種が立派に育ってきていることを感じました。さらに、立派な木となり、花を咲かせるようにということを発表の方々にご期待して、また、ご参加の皆様の一層のご努力を期待しております。

大三輪先生のご遺族のご好意で、大三輪先生の記念ということで、大三輪先生の記念品を本学にいただきました。その記念品は一階のホールに只今、置いております。いろいろな資料の陳列・展示の戸棚などでございます。この機会に大三輪先生ゆかりの品々を展示させていただきます。この展示会は、六月一日から一カ月間で、今日が三日目です。ご遺族の方のご好意に、心から感謝申し上げます。

それでは、講演会に移らせていただきます。本日は納富常天先生にご講演をいただきます。納富先生をご存じの方が多と思います。簡単にご紹介させていただきます。

駒澤大学文学部仏教学科を卒業されまして、昭和四十九年に駒澤大学から文学博士号を授与されておられます。神奈川県立金沢文庫、神奈川県立博物館などの勤務を経まして、昭和五十六年に、県立金沢文庫長に就任されておられます。その後、平成元年四月から、鶴見大学文学部教授としてお勤めいただきおありまして、その間、平成七年には図書館長を併任され、また、平成九年四月からは、副学長を兼任されておられます。平成十二年十一月末まで副学長をお勤めになって、任期満了でのご退職になっておられます。その後、大本山總持寺宝物殿の館長に就任され、現在までお勤めを続けておられます。

鶴見大学仏教文化研究所について申し上げますと、平成七年四月に開設されました。そのときから、所員としてご退職までお勤めいただき、さらに、現在まで顧問をされておられます。大本山總持寺のご開山は瑩山禪師という方で、これは本日の主題の仏教・鎌倉に関わるわけでございます。瑩山禪師はその時代の方ですが、鶴見大学は大本山總持寺が開設した学校ということでございますので、本学の最初の基礎を開かれた方になります。

納富先生は瑩山禪師のご研究を長くやってこられた方ですので、本日はそのご研究の一端をまとめてお話しただけということでございます。ご静聴をお願いいたします。